



片柳中学校だより

# 片柳

第12号 令和8年3月2日発行  
さいたま市立片柳中学校  
さいたま市見沼区大字御蔵551  
TEL048-683-3173

<学校教育目標> 夢をはぐくむ学校 ○自ら学ぶ生徒 ○心豊かな生徒 ○心身を鍛える生徒

## 感恩戴徳

校長 佐久間 貴宏

早咲きの花がほころび、見沼田んぼを渡る風にもやわらかなぬくもりを感じる季節となりました。三寒四温の空の下、桜の蕾も静かに力を蓄えています。この一年、諸活動の見守りや行事へのご協力など、地域・保護者の皆様から多方面にわたり温かいご支援を賜りました。学校は地域とともに育てる場であり、生徒は地域の「未来の宝」であることを、改めて深く実感しております。心より御礼申し上げます。

生徒の皆さん、この一年間での、自分の成長を実感することはできていますか。テストの点数や通知表の数字は、努力の軌跡として非常に大切です。しかし、そうした数値で示される結果は成長の一部にすぎません。挨拶の声が少し大きくなった、苦手から逃げずに机に向かう時間が伸びた、困っている友へ自然に手を差し伸べられた。そうした目には見えにくい変化の積み重ねも、まぎれもない成長です。他者と比べるのではなく、昨日の自分を少しでも越えていく。その歩みこそが、皆さんを確かな未来へ導きます。社会は今、「正解のない問い」に満ちています。知識を蓄えるだけでなく、それを活用し、多様な他者と対話しながら、その場に最もふさわしい『納得解』や『最適解』を導き出す力が求められています。失敗は挑戦の証であり、未知に向かって踏み出す勇気が、皆さんの世界をより鮮やかに広げてくれるはずです。

まもなく卒業を迎える3年生の皆さん。義務教育九年間の集大成である卒業式は、新しい世界への大きな一歩です。行事や部活動、そして日々の学びの中で仲間と支え合いながら積み重ねてきた経験は、これからの人生を進む羅針盤となります。胸を張り、自信をもって新しいステージへ羽ばたいてください。

1、2年生の皆さん。先輩たちの背中から、皆さんは多くのことを学んできたことでしょう。困難に立ち向かう姿勢や、本気で取り組む眼差しは、皆さんへの無言のメッセージです。思いのこもったバトンを受け取り、片柳中の歴史に自分たちの色を重ねていってください。

三月は、感謝が深まる月です。校舎の隅々に「ありがとう」の言葉が響き合う、一年の締めくくりにしていきましょう。感謝は、伝える側にも受け取る側にも力を与えます。知識や技能と同じように、他者の痛みに寄り添い、感謝を言葉にできる「徳」は、皆さんの生き方を大きく支える財産となります。

年度の終わりにあたり、校長として三つのお願いをします。

- (1) お世話になった方々へ、感謝を自分の言葉で直接伝えてください。
- (2) 教室や身の回り、そして心を整え、後輩へと託す準備をするとともに、次のステージに向けた準備を進めてください。
- (3) 過去にとらわれず、理想の自分を思い描き、挑戦の一步を踏み出してください。

別れと出会いが交差する春、皆さんの前には可能性溢れる道が続いています。言葉で伝え、共に考え、やり抜く力。片柳中学校で育んできた力を胸に、自分と仲間、そして地域への誇りと感謝を携えて、力強く新しい一步を踏み出してください。皆さんの夢の発見とその実現を、私たちは心から信じています。